

(CS部門) 人命救助リレー

(ルール)

- この競技は、救助用の浮きを作成し、前方のバーに届くように投げて帰ってくることを3回繰り返すまでの時間を競うものである。
- チューブ3本と4mロープ6本については、貸し出されたものを使用する。
- スタートは、カゴの中に8重に折ったロープ6本と、チューブが3本積み重なっているかを確認した上で行う。この時、ロープの端がカゴから出ていてはいけない。
- スタートの合図で、3人一組で走り、結びラインの前で下図のとおり、救助用の浮きを作成する。
- 救助用の浮きができれば、前方のバーまで浮きを投げてひっかける。このとき、手元側のハの字結びを、必ず結びラインの内側に残すこと。
- ハの字結びが結びラインよりも前にでた場合は、ハの字結びを引っ張ってラインの内側まで戻す。
- 浮きがバーに引っかからなければ、引き戻して引っかかるまで繰り返し投げる。また、チューブがはずれた場合は、チューブを取りに行ってから結び直して投げること。
- 浮きがバーに引っかかれば、スタートラインまで戻って次の組と交代する。
- 次の組への交代は、その組の最後の組員がスタートラインに入った時点とし、審判が「フライング」と警告した時は、スタートラインまで戻って再スタートする。
- 3回繰り返し、最後の組が全員スタートラインに戻った時にストップウォッチを止める。
- 1チームの編成は、3名～9名（最大9名）。チームの全員参加が参加すること。
- 制限時間は15分間。これを超えると失格とする。
- 1チームにつき、1回のみチャレンジできる。

